



MBニュース



【中国輸出奨励金制度廃止？】

丸松物産株式会社

今まで中国政府は、輸出を奨励するために、国内で支払った増値税を輸出後に一部還付(戻す)制度を設けておりましたが、平成24年3月をもって還付制度を廃止したとの情報があります。突然の発表のため、増値税支払い済みの輸出在庫についても廃止の対象となるのか、大きな影響が産業界に広がっております。農産物関連の対象商品は、裏白木耳、黒木耳、椎茸、ぜんまい、メンマなどの乾燥品が対象と言われておりますが、現状ではまだ不明の点がありますので、詳細が判明次第再報する予定です。

【中国現地ニュース】

【現在の住宅価格の水準は適正と言えるのか？】

今年の中国政府の報告書の中で、住宅価格は合理的な水準に戻すべきだと述べている。この提案は、住宅価格の引き下げを政府の目標としている事が依然として窺われ、業界全体に周知された。また温家宝首相はこの件に対して、住宅価格は、住民の収入に見合うものであり、さらに、原価と利益のバランスがとれていることだとして、不動産引き締め策を継続する方針をあらためて強調。

この住民の収入に見合う水準というのは、住宅価格に対する家庭年収の比率が目安となるが、中国では、国際基準(3~6倍が合理的区間)よりも大きく上回っているのが現状です。北京郊外を例にあげると、平均成約価格は、1平米あたり1.8万元(約23.4万円)、平均成約面積100平米とした総合価格は180万元(約2.4千万円)となります。そして北京統計局のデータでは2011年度の一世代当たりの平均収入は12万元(約160万円)となっています。この条件下での対年収比は15倍以上に達し、さらにローンの利子を加算すると、22~23倍となります。

このように中国の住宅価格に対する年収比は非常に高い現状であり、不動産価格も様々な要因で高くなっていますが、国民達は、自分の住宅があつてこそ帰属感と安心感が持てるという意識が高い為、不動産価格の暴騰に対しても忍耐強い。また大都市では、若い世帯に対して住宅購入をその親が応援している場合も多く、住宅需要の増長は都市化を進展させる一方で、必然的にその対年収比は高くなっています。(2012年3月23日:広州日報より抜粋)

【新商品情報】

	商品名	梅だいこん	
	商品特徴	だいこんの食感を生かし、梅風味で彩りよく仕上げました。	
	主要原材料	だいこん	
	賞味期限	製造日より4ヶ月(常温保存)	
	使用上の注意	開封後は5℃以下で冷蔵保存し、3日以内にお召し上がり下さい。	

以上